

# 第1章 はじめに

## 1. 計画の背景と目的

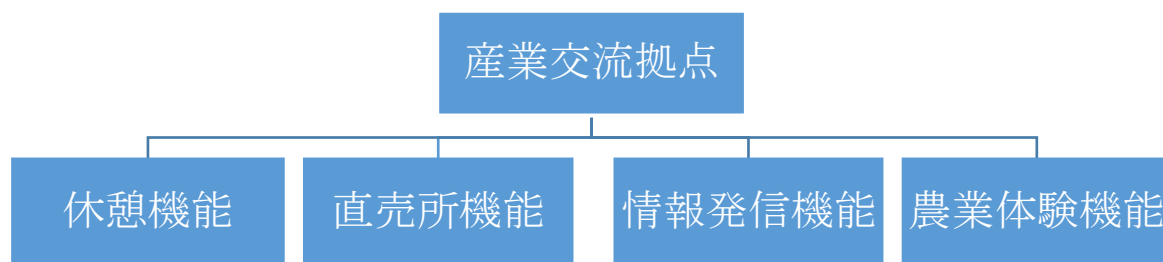
本市では平成27年度に、地域商圈を活かした広域交流拠点の整備に向け『行田市産業交流拠点整備調査研究業務』を実施しました。同調査では前提条件の整理、市民や各種団体への意向調査等を行ったうえで、対象地の選定、産業交流拠点整備の基本的な考え方の整理を行いました。

また、同年度中に、『行田市産業交流拠点整備調査研究業務』を踏まえて、施設整備方針、運営方針を明確にすることを目的に、『行田市交流拠点整備基本構想』を策定しました。

『行田市産業交流拠点整備基本計画』では、『行田市産業交流拠点整備調査研究業務』及び『行田市交流拠点整備基本構想』を踏まえ、外部の有識者を交えた検討委員会において、施設整備方針などを再度整理するとともに、運営管理の方針、施設配置の方針を明らかにすることを目的とします。

### 産業交流拠点とは・・・

本市では、『行田市産業振興ビジョン（平成25年3月策定）』において、地域商圈を活かした広域交流拠点の整備を掲げており、新たな雇用や賑わいの創出、地域経済の活性化を図るため、農業・商業・工業・観光等の各産業が有機的に連携・交流する拠点として、道の駅を基本とする多機能な複合施設を「産業交流拠点」と称しています。



## 2. 計画の位置づけ

産業交流拠点は、第5次行田市総合振興計画に基づく個別計画として、『行田市都市計画マスタープラン』において「交流拠点の整備」が位置づけられているとともに、『行田市産業振興ビジョン』において「地域商圏を活かした広域交流拠点の整備」としての位置づけがされています。

